



群馬県中小企業団体青年協議会（諸田宏会長）は、1月27日、前橋市・エメラルドボウルにおいて交流会（ボウリングコンペ）、同市・どん亭岩神店において新年会を開催した。

◆交流会（ボウリングコンペ）◆



アドバイスを行う諸田会長と傾聴する参加者

開会に先立ち、ボウリングが趣味だという諸田会長が高スコアを出すためのアドバイスをを行った。その後、レーンに移動し、諸田会長及び神山哲也副会長による始球式でゲームを開始。

4チームでスコアを競い合い、ハイスコア202というハイレベルな戦いを繰り広げ、大いに盛り上がりを見せた。



◆新年会◆

ボウリングコンペ終了後、新年会を開催。コンペの結果発表及び賞品贈呈を実施した。上位のチームから賞品を選択し、賞品を披露するたびに歓声が上がった。



その後、諸田会長より各青年部の現況・動向を知りたいとの要望があり、全体での話し合いの場が持たれた。青年部員の減少、活動の停滞など、各会員が抱える問題点などが数多く語られる中で、久保田雅幸元会長より「青年協議会としての活動を活性化するためには、本協議会の会合に参加している会員が組合に戻ったときに、青年協議会の存在を周知していくことが大切である」との提言がなされた。

活発な意見交換や交流が行われる中、武田彰理事の中締めにより閉会となった。

群馬県商店街振興組合連合会 研修会・新年会



研修会テーマ
「ビッグデータから見る商店街を取り巻く環境」

◆群馬県商店街振興組合連合会（今川守会長）は、1月31日、高崎市・ホテルメトロポリタン高崎において、研修会・新年会を開催した。

◆研修会◆

講師 日本商工会議所地域振興部
主席調査役 鵜殿 裕 氏

鵜殿氏は、国が提供するビッグデータ「地域経済分析システム（RESAS）」から、地域における経済循環システムや消費動向を読み取ることができ、地域に即した対策を考える一助となることを説いた。

地域経済循環を生み出す仕組みが地方創生に必要であると解説したうえで、「ビッグデータを活用し、魅力ある商店街を10年後も残していつてもらいたい」と講演を締め



鵜殿 裕 氏

◆新年会◆



今川会長



向田産業経済部長

研修会終了後、新年会を開催。今川会長、県産業経済部長・向田忠正氏が挨拶し、入沢秀樹副会長の音頭で乾杯。和やかな雰囲気の中、親睦が深められた。

